

科目コード	B1933	開講学期	春期	単位数	2	一般聴講	可	LA聴講	可
授業科目名	国際関係論 S								
Course Title	Global Dynamism								
担当教員	西崎 香						責任教員	西崎 香	
曜限:日程	火3								
対象学年	1年	自由選択	2年	自由選択	3年	選択必修	4年	選択必修	重複履修 可

授業のねらいと到達目標

これから数年の国際情勢は顕著な激変期を迎える。先送りされてきた「20世紀の積み残し課題と負の遺産」への取り組みがようやく本格化。地政学や安全保障、政治、経済、社会、文化などのあらゆる領域で地殻変動が起きるだろう。グローバル社会は弱肉強食の様相を示し、日本の命運は国際関係が握ることに。キーワードで世界を展望し、潮流を読み解く。

授業計画・春期

激動期を生き残るには情報の質と量が決め手になる。しかし、残念なことに日本国内では「世界で何が起きているのか」の情報量が極めて少ない。グローバルなメディアの基軸言語は英語だが、それが日本の「言葉の壁」にぶつかり、国内では致命的な情報不足と「ガラパゴス化」が進行している。授業では、メディア英語のエキスパートでもある講師が決定的な海外動向を日本語で紹介し、分かりやすく読み解く。抽象的な国際関係論とは異なり、「リアルなグローバル・スタディ」が特徴。この時代を揺り動かす潮流をつかみ、将来へのインパクトと歴史的な位置づけを解説する。新鮮なファクトを使う。基本的に授業日までの1週間に浮上した国際イベントに注目し、現地の最新ニュースとビジュアル教材を活用して事態を把握する。情報を分析して本質を知り、世界と日本へのインパクトも考える。受講生には、国境に阻まれない柔軟で意欲的な知識欲と考察力が求められる。「よく見て、聞いて、考えて」「世界の知識を自分のものに」が年間目標。「地球市民としての当事者意識」を学ぶ。読み解きに使うキーワードは春期と秋期で共通。具体的には秋期の授業計画を参照のこと。

授業計画・秋期

評価方法

出席回数のほか、授業では「何でも聞いてみよう。ちょっと発言してみよう」という生徒を積極評価。主に授業態度を見ながら、筆記試験を参考に総合判断する。努力と意欲を示すことができる受講生は評価される。

学内販売予定教科書

その他の教科書・教材

参考文献

学生に望むこと・その他

自分の考えをアピールしてください。

履修要件

(ヒューマンサイエンス必修、マネジメント選択必修)